

## 障害者の生涯学習を支援する活動を行う団体が 文部科学大臣から表彰されます！

障害者の生涯にわたる学びを支える活動の普及・発展に尽力し、顕著な成果を挙げた団体が「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受けます。

### 1 表彰の趣旨

障害者が生涯を通じて教育やスポーツ、文化など様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることができるよう、障害者の多様な学習を支える活動を行う個人又は団体に対してその功績をたたえるものです。

### 2 被表彰団体及び活動

【功労者表彰：これまでの長期に渡る活動の功績をたたえるもの】

■団体名： 特定非営利活動法人 コミュニティリーダーひゅーるぽん（広島市）

■団体名： 三次朗読奉仕者友の会（三次市）

### 3 被表彰団体の概要・活動内容

別紙のとおり

### 4 表彰式

日時：令和5年12月12日（火） 13：00～13：30

場所：文部科学省東館3階第一講堂

開催方式：ハイブリッド開催（会場参加及びYoutubeによるライブ配信）  
（受賞者の御紹介、代表受賞者への表彰状授与、大臣祝辞等）

※なお、当日の様子については、後日、動画配信予定です。

### 5 その他

令和5年度表彰は、全国で功労者表彰45件、奨励活動表彰6件

文部科学省HP 報道発表ページ

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/mext\\_00090.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00090.html)

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者一覧（広島県）

推薦者名	被表彰者の名称	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
広島県	特定非営利活動法人 コミュニティリーダーひゅーるぽん	功労者	22年	2001年より広島市内の企業等と協働し、障がいのある人の公募芸術作品展「アート・ルネッサンス」を主催。この活動を起点として、障がいのある人の表現活動を支援するためのセミナーやサポーターの育成、ネットワークへと発展させてきた。2014年より障害者アートサポートセンターの運営を行い(2016年より広島県からの受託事業)、障害者芸術文化活動の情報発信、人材育成、創作活動等の総合的な支援を行っている。	学習 文化芸術 情報保障 普及啓発 ほか	すべて
広島県	三次朗読奉仕者友の会	功労者	46年	視覚障害者への情報保障として、市の広報誌等の朗読テープ・CDの作成を中心に活動し、視覚障害者の社会参画を目的とした視覚障害者の交流機会の企画や、系統的な活動とするための朗読ボランティア養成講座の実施、小学校等への出前講座等も精力的・継続的に行っている。	学習 情報保障 普及活動	視覚障害者

## 表現活動応援プログラム

### ■ 団体名・氏名

特定非営利活動法人 コミュニティリーダー  
ひゅーるぽん

### ■ URL

[http:// www.hullpong.jp/](http://www.hullpong.jp/)

### ■ 基本データ

継続年数	22年間
主な連携先	社会教育団体、文化芸術団体等
団体の規模等	30名（うち役員6名）

対象	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	重度重複
活動分野	学習	文化芸術	スポーツ	情報保障	普及啓発	その他

### 活動の概要

広島市内の企業等と協働で障害のある人の公募芸術作品展「アート・ルネッサンス」を主催し、この活動から障害のある人の表現活動を支援するためのセミナーやサポーターの育成、ネットワークへと発展させました。2014年より「（障害者）アートサポートセンター」の運営を行い、障害者芸術文化活動の情報発信、人材育成、創作活動等の総合的な支援を行っています。

### ■ 活動内容

障害者の文化芸術活動の支援を中心に、子どもたちの育ちの支援や、障害のある人の社会参加の支援を行いながら、彼ら、地域、青少年とともに幸せあふれる社会づくりを目指した活動を行ってきました。2014年から厚生労働省の「障害者芸術活動支援モデル事業」の指定を受け、障害者芸術文化活動の推進、芸術家の育成を図ることを目的として設立された「アートサポートセンター」の運営を行い（2016年より広島県からの受託事業）、障害者芸術文化活動の情報発信、人材育成、創作活動等の総合的な支援を行っています。こうした活動を通じて、アートで街を楽しく幸せにするだけでなく、障害のある人のアートが持つ魅力、価値を広く社会に広めるとともに、アーティストと社会がつながる社会参画の場をつくり、現場で制作するアーティストやサポーター同士のつながりを広げることにより、アーティストやサポーターの表現活動を広げ、高めるなど様々な波及効果が生まれています。



写真1 障害者アートの公募展「アート・ルネッサンス」

### ■ 活動の経緯・体制

子どもたちの育ちや発達の支援に加え、障害者の表現活動の支援を行う施設の運営と、彼らのアートを使ったまちづくり活動を、大学、企業等と連携して展開してきました。「アートサポートセンター」の運営により、障害者芸術文化活動の推進やアーティストの支援や育成をさらに加速させています。大学教授、弁護士等で委員を構成し、民間企業や各種団体、行政など多様な主体と連携・協働しながら活動を推進しています。

### ■ 活動の工夫・成果

障害者のアート活動を個別最適に伴走支援する支援者を「アートサポーター」と位置づけ、これらのサポーターを増やし、つなげていくための場づくりや新たな学びの場づくりの機会を広げるなど、サポーターの育成に力を入れるように工夫しています。障害者アートの公募展「アート・ルネッサンス」は、全国各地からの応募や、10日間で千人以上の来場者があるなど、全国規模の展覧会となってきました。



写真2 創作ワークショップ

## 朗読ボランティアを50年 そしてこれからも

### ■ 団体名・氏名

三次朗読奉仕者友の会

### ■ URL

### ■ 基本データ

継続年数	46年間
主な連携先	社会教育関係団体、学校、図書館等
団体の規模等	20名

対象	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	重度重複
活動分野	学習	文化芸術	スポーツ	情報保障	普及啓発	その他

### 活動の概要

視覚障害者への情報保障として、市の広報誌等の朗読テープ・CDの作成を中心に活動しています。また、視覚障害者の社会参画を目的とした交流機会の企画や、系統的な活動とするための朗読ボランティア養成講座の実施、小学校等への出前講座等も精力的・継続的に行っています。

### ■ 活動内容

視覚障害者への情報保障として、市の広報誌、市議会の広報誌、社協広報誌、身障害者協会広報誌の朗読テープ・CDの作成を定期的に行うほか、視覚障害者の方からの要望に応じて、新聞や書籍の朗読テープ・CDの作成も行っており、作成した成果物は利用者だけでなく三次市立図書館にも提供しています。

また、視覚障害者の方の社会参画を目的に、音楽鑑賞会の企画やハイキングサポートを定期的に行っています。

さらに、朗読ボランティアの活動を普及するため、朗読ボランティア養成講座を実施するほか、市内小学校や三次市社会福祉協議会と連携・協働し、年間を通じて小学校への訪問による啓発活動や、毎年、社会福祉協議会が開催する福祉体験学習（主に一般・高校生）の講師や支援を継続して行っています。



写真1

養成講座実施

### ■ 活動の経緯・体制

「目の不自由な方のためにお手伝いをしたい」という初志のもと、視覚障害者への情報保障として指定図書朗読テープを広島点字図書館へ納める活動から始まりました。現在は市や議会の広報誌等の朗読テープ・CDの作成を活動の中心とし、利用者の要望にも柔軟に対応しています。また、会員の勉強会や企画などの活動も行って、各種イベント等からの講師依頼や学校からの活動支援に係る連絡や調整も行っています。

### ■ 活動の工夫・成果

障害者フライングディスク大会に、ボランティアスタッフとして毎年参加し、障害者支援者のネットワークの拡大を行っています。広報誌の朗読については、機械による音声サービスだけでは情報が届きにくい視覚障害者に対して、情報の伝わりやすさを考え、再構成する工夫をしています。朗読ボランティアを系統的に長期間実施することで、地域の障害者の生涯学習支援の基盤となっています。



写真2

記念誌発行（4回）